

令和4年度
文化芸術による子供育成推進事業
ユニバーサル公演事業
実施の手引き

実施校用



令和4年 11月

文化庁 参事官(芸術文化担当)付 学校芸術教育室

目次

■ 第1章 「文化芸術による子供育成推進事業-ユニバーサル公演事業-」概要	・・・	1-3
■ 第2章 採択から実施完了報告までの流れ	・・・	4-5
■ 第3章 児童・生徒及び教員の移動交通費が生じる場合の手続きについて	・・・	6-7
■ 第4章 各種様式及び記入例	・・・	8-14

令和4年度は、文化庁から事務業務の委託を受けて近畿日本ツーリスト株式会社が実施しています。
問い合わせは次の連絡先をお願いします。

文化芸術による子供育成推進事業 事務局（ユニバーサル公演事業担当窓口）

〒163-0236

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル36階 近畿日本ツーリスト株式会社 公務営業支店内
文化芸術による子供育成推進事業事務局 ユニバーサル公演事業係

TEL：0570-064-203（10：00～17：00）プッシュ「6」

E mail：uni-kodomogeijutsu@gp.knt.co.jp

事業専用ウェブサイトURL：<http://www.kodomogeijutsu.go.jp>

※ 電話でのお問い合わせが一時的に集中する可能性がありますので、メールでのお問合せに御協力ください。

※ 事務局以外が申請書類の提出先になっている場合、締め切りや提出方法に関するお問い合わせは窓口となる各都道府県・政令指定都市等の担当部局へお問い合わせください。



ホームページはこちら

第1章 「文化芸術による子供育成推進事業-ユニバーサル公演事業-」 概要

1. 実施の趣旨

文化芸術による子供育成推進事業は、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、又は小学校・中学校等に個人又は少人数の芸術家を派遣し、子供たちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施することにより、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的としています。ユニバーサル公演区分を設置することで、更に多くの子どもたちが文化芸術に親しみ、文化芸術を通して表現の多様性を認識し、障がいへの理解を深める鑑賞・体験機会を提供することを目的とします。

2. 実施内容

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施団体募集において採択を受けた芸術団体が、小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）・特別支援学校（小学部・中学部・高等部）等に赴き、子供たちがより身近に芸術に触れ、表現の多様性を体感する機会を提供します。

< ユニバーサル公演の取り組み >

- ① 障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
- ② 字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

< 設置区分 >

D区分 公演をメインプログラムとする企画

E区分 ワークショップを中心とする企画
(ワークショップの一環として実演を披露するものを含む。)

● 実施期間

決定通知日～令和5年2月28日(火)

※採択後、具体的な実施日程等については、実施団体と学校間において調整を行うものとします。

● 実施回数

原則1校につき1プログラム（公演の場合は1公演、ワークショップの場合は1セット）

第1章 「文化芸術による子供育成推進事業-ユニバーサル公演事業-」 概要

● 実施会場

原則として実施校の教室又は体育館等

(複数の学校による合同開催の場合は文化施設または合同開催校での実施も可。ただし、会場及び付帯費用は共催者又は地元主催者が負担する経費となります。)

● 実施対象

小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）・特別支援学校（小学部・中学部・高等部）等

● 被派遣者

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施団体募集において採択を受けた芸術団体。

● 参加者

- 児童・生徒、教職員、保護者等を対象としています。なお、実施団体が提示する1企画(1公演)当たりの「鑑賞・体験可能人数の目安」を基準とし、児童・生徒の鑑賞環境の確保や安全性の確保を最優先事項としますが、鑑賞スペースに余裕がある場合においては、地域住民（幼稚園、保育園児童を含む）の鑑賞を受け入れることも可能です。
- 決定通知後であっても、合同開催校の受け入れは可能です。ただし、受け入れについては、安全性の観点や団体に認められた費用上限との兼ね合いがありますので、合同開催校の受け入れや鑑賞人数の変更については、必ず制作団体へ相談してください。なお、合同開催等のために、参加校が会場に移動する際の交通費（公共交通機関又は貸切バス等を想定）は、学校より申請することができます。

※ **新型コロナウイルス感染症拡大予防対策としての複数回公演(鑑賞人数の分散)等の対応については、制作団体が行うヒアリング及び事業全体の予算執行状況等を勘案し、協議の上で費用計上に係る基準を決定します。**

● 主催者

主催者及び共催者は次のとおりですが、必要に応じて会場の管理者、市区町村、市区町村教育委員会を「地元共催者」として加えることができます。

[主催者] 文化庁

[共催者] 都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数及び実施校

※以下、共催者及び文化庁が認める共催者(会場の管理者、市区町村、市区町村教育委員会)をあわせて「地元共催者」と表記します。

第1章 「文化芸術による子供育成推進事業-ユニバーサル公演事業-」 概要

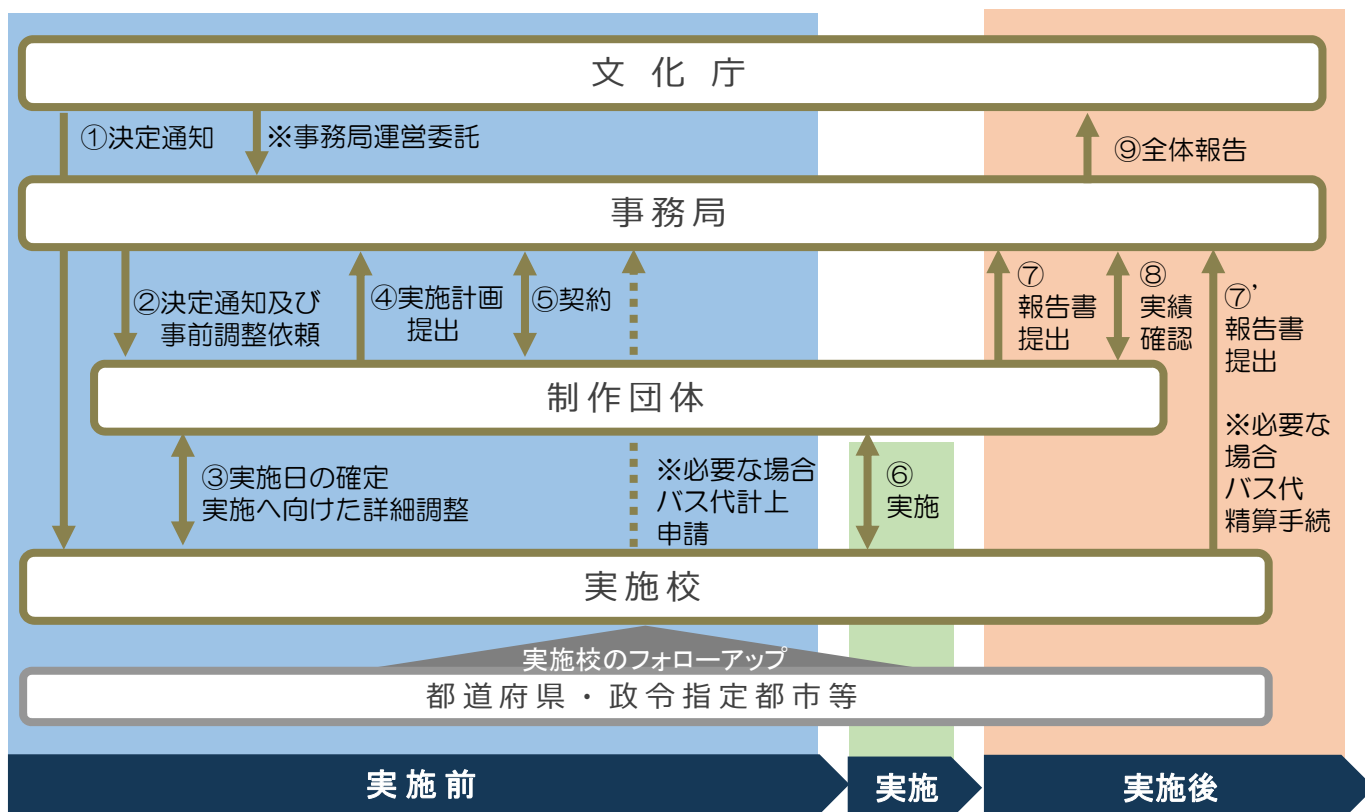
● 経費について

各費用が発生した場合の負担者は次のとおりです。

費用の種類	費用負担者	費用申請者	備考
体育館以外の有料会場で実施する場合の会場費及び付帯設備費	地元共催者	—	発生する場合は、原則、地元共催者が負担する経費です。
体育館を含む会場の光熱水料、ピアノの調律料・移動費	地元共催者	—	
児童・生徒が会場へ移動するバス代	文化庁	学校	6～7ページを御参照ください。
公演に直接係る経費（出演料、公演料等）及び公演団体が会場へ移動する旅費・運搬費	文化庁	団体	ユニバーサル公演における経費計上基準及び制作団体が採択を受けた企画の範囲内で計上が認められています。

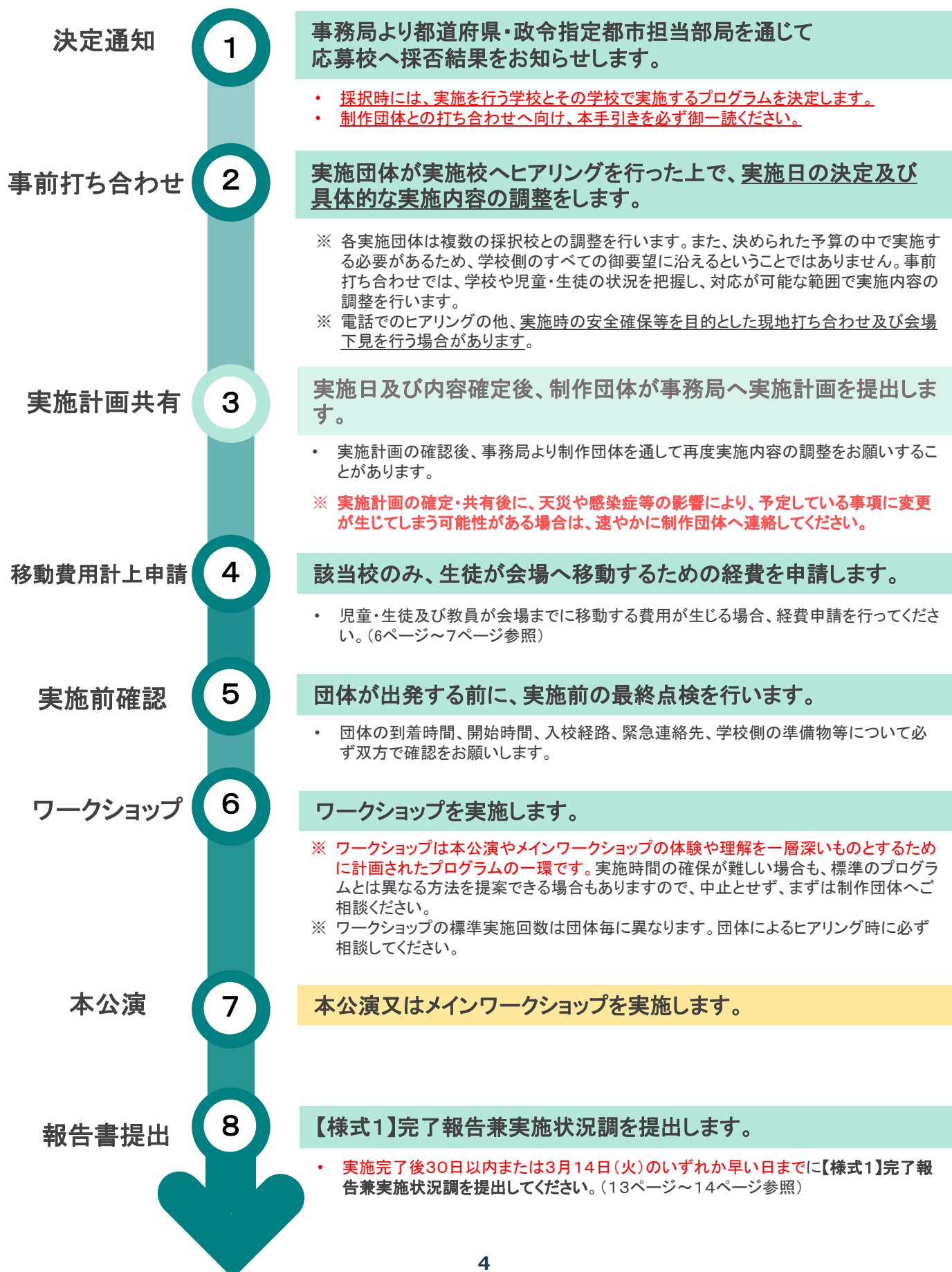
3. 事業の運営体制について

決定通知後、事務局と制作団体において再委託契約を締結し、実施します。よって、公演へ向けた打ち合わせや実施に係る準備及び経費等の精算手続きについては制作団体が行います。ただし、実施校又は合同開催校の生徒及び教員が会場へ移動するための交通費が発生する場合の各種手続きについては、実施校又は合同開催校のいずれかが行う必要がありますので御留意ください。



第2章 採択から実施完了報告までの流れ

4. 採択から報告書提出までの流れ



第2章 採択から実施完了報告までの流れ

5. 事業実施に当たっての留意事項

① 児童・生徒の体調への配慮について

本事業の実施に当たり、熱中症対策や寒さ対策及び新型コロナウイルス感染症予防の観点から、三密（密集・密閉・密接）にならないようにする等の工夫をお願いします。

② 団体との調整について

- ・制作団体との打ち合わせにおいては、生徒の健康上の理由により配慮が必要な事項や、効果を高めるための工夫等について十分な検討を行ってください。
- ・ワークショップや公演当日の共演時、また舞台装置の搬入・搬出時等においても、安全確保については十分に留意してください。
- ・事業の円滑な実施のため、特に次の点については、事前に双方で確認を行っていただきますようお願いいたします。

【スケジュール】

- ・公演団体の来校時間
- ・搬出入の流れと時間
- ・リハーサル（共演のリハーサルを含む）等
- ・休憩のタイミング

【撮影について】

- ・写真や動画の撮影が可能か

【 その他 】

- ・搬出入の経路等
- ・来場する車両の大きさ（寸法・重量）
- ・その車両が通れる経路はどこか
- ・駐車位置はどこか（体育館に横付け可能か）等
- ・飲食（昼食等）可能な場所はどこか
- ・ゴミの処理方法
- ・控室の準備
- ・**新型コロナウイルス感染症予防対策** 等

※ 特に、応募の際に確認いただいた団体の出演希望調書内の会場条件について、十分に満たしていないものがある場合は、ワークショップの前に必ず団体側へお伝えいただき、会場の確認に立ち会いただく等御協力をお願いします。

③ 日程の変更について

原則として団体との調整後にワークショップおよび本公演ともに日程変更・中止をすることは認められません。ただし、天災・感染症等のやむを得ない理由により予定していた日程での実施が不可能となった場合は、速やかに制作団体へ連絡し、日程の再調整等について検討してください。検討の結果、ワークショップ又は本公演を辞退せざるをえない場合は、速やかに事務局へ御連絡ください。

④ 公演やワークショップの取材について

各種メディア等より公演やワークショップ等の取材を受けた場合は、必ず団体へも取材可否の御確認をお願いいたします。また、本件が「令和4年度 文化庁主催事業 文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－」の一環であることをお伝えいただき、事業名の明記をお願いしてください。

第3章 児童・生徒及び教員の移動交通費が生じる場合の手続きについて

1. 交通費の申請

● 対象内容

実施校又は合同開催参加校の児童・生徒及び教職員が、本公演及びワークショップへ参加するに当たり、会場（他校又は文化施設）へ移動するための交通費（バス借料・公共交通機関運賃）を申請することができます。

● 申請先及び申請締切日

交通機関の利用前に必ず事務局へ事前申請をしてください。申請に当たっては、直前の申請とにならないよう御留意ください。

● 申請者

採択校又は合同開催校のいずれか（交通費申請を必要とする学校）

※ 次の場合は複数校分の申請を代表校が行うことを認めます。ただし、【様式イ】交通費申請書は学校毎に作成し、提出してください（8ページ～9ページ参照）。また、見積書内にバス等を利用する学校名を全て記載していただくよう依頼してください。

- ・ 複数校間のピストン輸送が発生する等の理由により、学校毎に見積書を取得できない場合。
- ・ 都道府県等が複数の学校分のバスを一括して手配する場合。

● 合同開催参加校への連絡調整について

交通費の申請について、採択校は事務局及び都道府県等から受けとった指示を必ず合同開催参加校へ共有してください。また、合同開催参加校が申請書を作成し提出する場合の提出方法は事務局にご相談ください。

● 申請に当たり提出が必要な書類

借上げバス等を使用する場合	【様式イ】 交通費申請書 【見積書】 業者見積書	提出方法：データ
公共交通機関を使用する場合	【様式イ】 交通費申請書	※ <u>業者見積書写しはPDFにして添付してください。</u>

● データ送信先 **uni-kodomogeijutsu@gp.knt.co.jp**

指定件名：R4UNI_交通費申請_学校名



● 費用の支払限度額および支払方法について

【様式イ】交通費申請書提出後に支払限度額を通知します。支払限度額が精算時の支払い上限額となります。また、移動経費（実費）が通知した支払限度額を下回った場合は、その金額が支払額となります。また、費用は、原則として実施完了後に事務局（近畿日本ツーリスト株式会社）宛に請求していただき、支払う流れになりますので、業者からの見積書取得の際には、必ずこの点をお伝えいただきますようお願いいたします。

● 申請の流れ

1

採択校以外の参加校も移動交通費が発生する場合、申請者を決める

2

公共交通機関以外を利用する場合、業者から見積書を取得する。

3

【様式イ】交通費申請書と業者見積書を指定のメールアドレスへ送信する。

第3章 児童・生徒及び教員の移動交通費が生じる場合の手続きについて

2. 交通費の請求

● 申請者

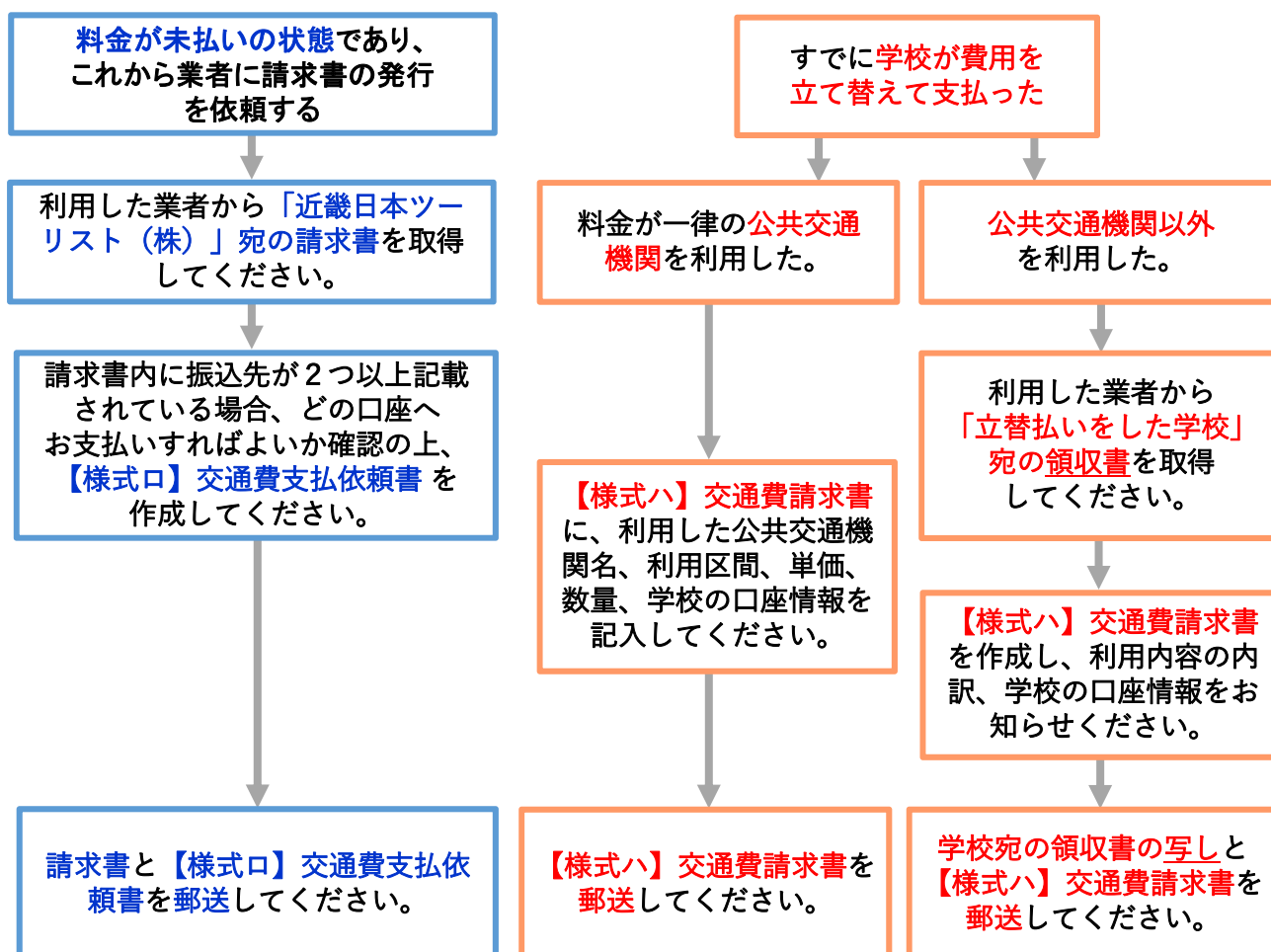
原則として交通費申請承認を受けた学校が請求手続きを行ってください。費用は原則として、事務局から利用業者へ直接お支払いをします。このため、請求書は「株式会社 近畿日本ツーリスト」宛にて取得をお願いします。ただし、公共交通機関等を使用する場合、学校が事前に費用を立替払いする必要がある場合はこの限りではありません。請求書の取得例については、12ページを参照してください。

● 請求手続き締切日

利用後14日以内又は令和5年3月14日（火）いずれか早い方

請求書到着後、書類に不備がないことを確認した上で、1か月以内を目安に請求元業者へ経費を振り込みます。対象内容、単価、数量等の内訳が記載されていない場合や、支払先口座の情報が誤りがある場合、お支払いが遅れてしまうこともありますので、不足事項等や記入の誤りがないか、事務局への送信又は送付前に必ず御確認いただきますようお願いいたします。

● 請求手続きの流れ



● 書類送付先

〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル36階
近畿日本ツーリスト株式会社 公務営業支店内
文化芸術による子供育成推進事業事務局 ユニバーサル公演事業係

第4章 様式及び記入例

様式一覧

● 児童・生徒及び教員の移動交通費が生じる場合

該当校のみ

様式記号	書類名	提出先 提出方法	参照 ページ	提出期限
【様式イ】	交通費申請書	提出先：事務局 方法：メール添付	p.6 手続き p.9 記入例	移動交通機関利用前
※ 利用者へ事務局より費用を支払う場合				移動交通機関利用後 14日以内又は令和 5年3月14日 (火)のいずれか早 い日
【様式ロ】	交通費支払依頼書	提出先：事務局 方法：郵送	p.7 手続き p.10 記入例 p.12 取得例	
※ 学校が立替払いをした場合				
【様式ハ】	交通費請求書	提出先：事務局 方法：郵送	p.7 手続き p.11 記入例 p.12 取得例	

● 全てのワークショップおよび本公演又はメインワークショップが完了した時

全校必須

様式記号	書類名	提出先 提出方法	参照 ページ	提出期限
【様式1】	完了報告兼実施状況調	提出先：事務局 方法：メール添付	p.13-14 記入例	実施完了後30日 以内または3月14日 (火)のいずれか早 い日まで

該当校のみ

● 天災、インフルエンザの流行等のやむを得ない事情により、日程変更や中止をせざるを得ない場合

様式記号	書類名	留意事項
【様式2】	実施辞退（中止）届	※やむを得ず実施の辞退をせざるを得ない状況がある場合、速やかに事務局へ御連絡ください。状況や理由を確認した上で、辞退（中止）届の作成について御案内させていただきます。

データ送信先



uni-kodomogejutsu@gp.knt.co.jp

文化芸術による子供育成推進事業事務局 ユニバーサル公演事業係

書類送付先

〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル36階
近畿日本ツーリスト株式会社 公務営業支店内
文化芸術による子供育成推進事業事務局 ユニバーサル公演事業係

第4章 様式及び記入例

【様式イ】交通費申請書

- 複数の日程で利用が生じる場合は、利用日ごとに申請してください。
- 1校が代表して複数校分を申請する場合は、請求書も同様の整理で作成してください。請求書は、バスを利用する合同開催校、利用区間、利用単価、バス(車両)の大きさ(大型、中型、小型、マイクロ、ジャンボタクシー、タクシー等)が分かるかたちで明細も取得してください。

様式イ

令和 4年 11月 14日

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業」—ユニバーサル公演事業— 交通費 申請書(見積書)

交通費申請校

申請校名	〇〇県立〇〇養護学校〇〇分校			申請する学校の校名を記入してください。
学校所在地	〇〇県〇〇郡〇〇-1-2-3			
担当者名	音楽 〇子	連絡先	*****-***-*****	
移動者数	必ず記入してください。 人			「ワークショップ」時の利用か、あるいは「本公演又はメインワークショップ」時の利用か、いずれか該当する項目をプルダウンリストから選択してください

実施日(利用日)	令和 4 年 12 月 12 日 (月)	本公演又はメインワークショップ		
公演団体名	劇団 〇〇	採択校名	〇〇県立△養護学校	
会場	〇〇市立〇〇中学校体育館	会場所在地	〇〇県△市〇〇-3-2-1	

費用見積

利用交通機関(業者名)	社会福祉法人〇〇会				
移動経費	移動手段	金額	数量		
	中型バス(福祉車両)	42,000 円 ×	1	台	42,000 円
	公共のバス・電車を利用する場合は路線名と区間(発着駅)を記入してください。	円 ×		台	0 円
	移動経費 合計				42,000 円
特記事項・備考	通学用の特殊車両が1台しかなく、全員が一度に移動することが困難です。このため、社会福祉法人〇〇より、リフト付きの車両を1台借りることにしました。利用額の根拠として、社会福祉法人〇〇の規定を添付します。				

公共交通機関使用の場合は
●●円 × ■■ 人

バス等の場合は
●●●●円 × ◆◆ 台

プルダウンリストより選択してください。

◎業者を利用する場合は **必ず見積書を添付**してください。

第4章 様式及び記入例

【様式ロ】交通費支払依頼書

利用業者へ事務局より費用を支払う場合

様式ロ

●申請の内容と同様の整理で作成してください。

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業」—ユニバーサル公演事業— 交通費 支払依頼書

令和 4 年 11 月 14 日

近畿日本ツーリスト（株） 宛

交 通 費 申 請 校

（学校名） ○○県立△養護学校

（代表者名） 校長 ○○ ○○ **必ず記入してください。**

申請した内容と変更がないか、確認してください。

下記のとおり、本事業に関する経費の支払を依頼いたします。

実施日 (利用日)	令和 4 年 12 月 12 日 (月)	本公演又はメインワークショップ
公演団体名	劇団 ○○	採 択 校 ○○県立△養護学校
会 場	○○市立○○中学校体育館	会 場 所 在 地 ○○県△市○○-3-2-1

交通費申請校			
学 校 名	○○県立○○養護学校○○分校		
学校所在地	○○県○○郡○○-1-2-3		
担 当 者 名	音楽 ○子	連 絡 先	****-**-****
移 動 者 数	8 人		

支 払 金 額		実績に併せて更新してください。	
利用交通機関(業者名)		社会福祉法人○○会	
移 動 経 費 (実 費)	移 動 手 段	数 量	
	中型バス(福祉車両)	42,000 円 × 1 台 =	42,000 円
		円 × 台 =	0 円
	移動経費合計		42,000 円
支払限度額	42,000 円	支払依頼額	42,000 円

公共交通機関使用の場合は
●●円×■人

バス等の場合は
●●●●円×◆◆台

【注意】支払依頼額は、支払限度額を超えることはできません

◎提出前に必ず下記内容をご確認ください。

- ① 未記入があった場合は振込できません。必ず全て記入してください。
- ② 業者からの請求書の宛名は【近畿日本ツーリスト株式会社】としてください。
- ③ 請求書には振込先口座の記載があることをご確認ください。
振込先口座が複数記載されている場合は、振込先口座の指定をお願いいたします。
その際は、丸印やマーカーにて指定の振込先口座をお知らせください。
- ④ 送付の際には、請求書も必要です。必ず本様式とともに送ってください。

第4章 様式及び記入例

【様式ハ】 交通費支払依頼書

学校等が立替払いをした場合

様式ハ

●申請の内容と同様の整理で作成してください。

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業」—ユニバーサル公演事業—
交通費 請求書

近畿日本ツーリスト（株） 宛

申請した内容と変更がないか、確認してください。

令和 4 年 11 月 14 日

必ず記入、押印してください。

交通費申請校
(学校名) △市立〇〇小学校
(代表者名) 校長 △△ △△

学校
〇〇小
長印

本事業に関する経費を下記の通り請求いたします。

実施日	令和 5 年 1 月 10 日 (火)	本公演又はメインワークショップ
公演団体名	〇〇ミュージック	採 択 校 △市立〇〇小学校
会 場	△市市民体育館	会 場 所 在 地 △県△市 1-2-3

交通費申請校	
学 校 名	△市立〇〇小学校
学 校 所 在 地	△県△市 3-2-1
担 当 者 名	〇〇 〇〇
連 絡 先	*****-****-*****
移 動 者 数	62 人

実績に併せて更新してください。

支 払 金 額				
利用交通機関(業者名)	〇〇バス株式会社			
移動経費 (実費)	移動手段	数量		
	大型バス	66,000 円 × 1	台 =	66,000 円
	中型バス	44,000 円 × 1	台 =	44,000 円
	移動経費合計			
支払限度額	110,000 円	支 払 依 頼 額	110,000 円	

【注意】支払依頼額は、支払限度額を超えることはできません

振 込 先	
口座名義	フリガナ マルマルシキョウイクイインカイスイトウコウザ
氏 名	マルマルシキョウイクイインカイスイトウコウザ
金融機関	〇〇銀行
支 店	〇〇 支店
預貯金種別	1. 普通(総合) 2. 当座
金融機関コード	* * * * - * * *
支店コード	* * * *
口座番号	1234567

必ず御記入ください。

◎提出前に必ず下記内容をご確認ください。

- ① 未記入があった場合は振込できません。必ず全て記入してください。
- ② 立替払時の領収書は立替払をした学校名(機関名)で御取得ください。支払内容確認のため、業者へ支払をした記録書類(請求書と振込票又は、支払内容(単価、数量、手配内容)が明記された領収書)が必要です。必ず本様式とともにお送りください。

11

第4章 様式及び記入例

業者からの請求書取得例

利用業者へ事務局より費用を支払う場合

「令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－内での利用であることの明記をお願いしてください。

手配内容（利用者、区間、単価、数量等）等が分かる形での内訳の記載をお願いします。

振込先が2つ以上ある場合は、事前にご確認ください。どちらの振込先へお支払いすればよいかご確認の上、ラインを引くなどしてお示しください。

No.*****

御請求書

近畿日本ツーリスト 株式会社 御中

近畿日本ツーリスト（株）宛の請求書を御取得ください。

社会福祉法人〇〇会
〒***-****
〇〇県〇〇郡〇〇-4-5
TEL:****-****
代表 〇△ 〇△

表取
締後印
人〇〇会代
社会福祉法

【件名】
令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－ 12月12日 〇〇県立△養護学校 車輛貸し出し 利用料

内容	金額
12月12日 車輛A***** 1日	38,182
	消費税 3,818
	合計 42,000円

【備考】
(振込先) 〇〇銀行 〇〇支店 当座 ***** フク)マルマルカイ
〇△銀行 〇〇支店 普通 ***** フク)マルマルカイ

学校等が立替払いをした場合

「令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－内での利用であることの明記をお願いします。

手配内容（利用者、区間、単価、数量等）等が分かる形での内訳の記載をお願いします。

ご利用明細		
お取引日	店番***	取引番号 ****-**
41201	取扱店	〇〇
払込口座	*****	
振込金額	1,110,000	
口座残高	***	
フリコミサキ	△ギンコウ 〇〇シテン フツウ	
	〇〇バス(カ)	
	手数料：320円	

併せて支払記録を添付してください

〇〇銀行

請求書No.*****

御請求書

〇〇市教育委員会 御中

立替払をした学校又は教育委員会等宛の請求書を御取得ください。

〇〇バス株式会社
〒***-****
△県△市〇〇-4-5-6
TEL:****-****
代表 △〇 △〇

表取
締後印
人〇〇会代
社会福祉法

【件名】
令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－ 1月10日 △市立〇〇小学校/△市立〇北小学校

日程	区間	単価	数量	金額
12月12日	△市立〇〇小学校－△市市民体育館	30,000	2	60,000
〃	△市立〇北小学校－△市市民体育館	20,000	2	40,000

消費税 10,000
御請求額合計 110,000

【備考】見積書No.*****
大型1、中型1（区間往復）添乗員なし

(振込先) △△銀行 〇〇支店 当座 ***** 〇〇バスカブシキガイシャ
△銀行 〇〇支店 普通 ***** 〇〇バスカブシキガイシャ

第4章 様式及び記入例

【様式1】完了報告兼実施状況調

様式1

文化庁参事官(芸術文化担当)付
学校芸術教育室

近畿日本ツーリスト(株) 御中

令和 4 年 12 月 13 日

記入漏れに御注意ください。

都道府県 青森県
政令指定都市名
実施校名 ○○県立△養護学校
実施校代表者 ○○県△市○○5-6-7
担当者 演劇 △太

決定通知日の記入漏れに御注意ください。

令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業—ユニバーサル公演事業— 完了報告兼実施状況調

令和4年10月4日付け事務連絡(決定通知)より決定のありました令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—ユニバーサル公演事業—について、事業が終了しましたので、下記のとおり報告します。

制作団体名	株式会社 劇団 ○○
公演団体名	劇団 ○○

プルダウンリストから「公演団体名」を選択すると「制作団体名」は自動で表示されます。

会場の選択漏れに御注意ください。

ワークショップ		【実施最終日】*		令和 4 年 12 月 5 日 (月)									
会場 *	合同開催校の体育館		ホール・その他を選択した場合										
※合同開催参加校がある場合、合計人数を記入してください。		合同開催参加校名											
参加者数 *	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	合計(のべ)	1	2	3	4	5		
小 1	5	6				11 人	1	○○県立○○養護学校○○分校	6				
小 2	6	6				12 人	2	○○市立○○中学校	7				
小 3	5	5				10 人	3		8				
小 4	8	8				16 人	4		9				
小 5	4	4				8 人	5		10				
小 6	6	6				12 人	実施内容(250文字) *					実施回数	2回
中 1		29				29 人	1回目	本校の生徒と○○分校の生徒が本公演で共演する歌と伴奏の指導を受けた。					
中 2		20				20 人	2回目	本校の生徒と○○分校の生徒と○○市立○○中学校の生徒が合同で歌と振り付けの練習及び本番へ向けたリハーサルをした。					
中 3		21				21 人	3回目						
在校生その他	5					5 人	4回目						
教職員	18	24				42 人	5回目						
保護者等						0 人							
参加者 総合計	57	129	0	0	0	186 人							

会場の選択漏れに御注意ください。

本公演		【実施日】*		令和 4 年 12 月 12 日 (月)							
会場 *	合同開催校の体育館		ホール・その他を選択した場合								
※合同開催参加校がある場合、合計人数を記入してください。		合同開催参加校名									
参加者数 *	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	合計(のべ)	1	2	3	4	5
小 1	6					6 人	1	○○県立○○養護学校○○分校	6		
小 2	6					6 人	2	○○市立○○中学校	7		
小 3	4					4 人	3		8		
小 4	8					8 人	4		9		
小 5	4					4 人	5		10		
小 6	7					7 人	実施内容(250文字) *				
中 1	29					29 人	音楽劇「*****」を鑑賞するとともに、途中、○○の歌で生徒全員が公演に参加した。一部体調がすぐれず、体育館には行けない生徒もいたが、リモートで参加することができた。				
中 2	18					18 人					
中 3	21					21 人					
在校生その他	5					5 人					
教職員	24					24 人					
保護者等	11					11 人					
参加者 総合計		143				143 人					

第4章 様式及び記入例

【様式1】完了報告兼実施状況調

共催者負担経費			
用途	金額	負担者	合計
			0 円

活用時間の
選択漏れに
御注意くださ
い。

活用時間	※該当する番号を選び記入してください。*				
	①通常教科	②総合的な学習の時間	③学校行事	④課外活動	⑤その他
ワークショップ	①	音楽	本公演	③	

※①、⑤の場合は教科名又は行事を記載してください。

全体的評価		文化芸術による子供育成推進事業—ユニバーサル公演事業—を実施して*
■「児童・生徒にどのような効果がありましたか。」		※該当する項目の□内に○をつけてください(複数回答可)
1	<input type="checkbox"/>	舞台芸術への関心を高めることができた
2	<input type="radio"/>	豊かな心や感性、創造性をはぐくむことができた
3	<input type="radio"/>	コミュニケーションの活性化に役立てることができた
4	<input type="checkbox"/>	自己認識・他者理解を深めることができた
5	<input type="checkbox"/>	教科学習への意欲を高めることができた
6	<input type="checkbox"/>	文化部活動に役立てることができた
7	<input type="checkbox"/>	学外の専門家への能力への関心を高めることができた
8	<input type="checkbox"/>	日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることができた
9	<input type="checkbox"/>	他国の人々や文化への関心を高め、理解を深めることができた
10	<input type="radio"/>	CDやDVD等では得られない反応があった
11	<input type="radio"/>	学校行事として文化芸術に関する行事が定着するきっかけとなった
12	<input type="checkbox"/>	学校教育の指導方法に役立てることができた
13	<input type="radio"/>	子供たちの個性や能力を発見したり、理解する機会となった
14	<input type="checkbox"/>	児童生徒、教員、学校に変化や効果が表れたエピソードや様子がある

①又は⑤を選択した場合は、併せて教科名又は行事名の記入をお願いします。

「14」に該当する場合は記入してください

教職員・担当者としての感想をお聞かせください。(250文字)*

3校合同での実施には不安がありましたが、地域的に、芸術を鑑賞機会があまり多いとは言えないので、応募時に周辺校へお声掛けをしました。事前のワークショップでは、様々な個性を持った生徒が、一つのシーンを作り上げるために協働することで自然とコミュニケーションが生まれ、本番に向け、皆で一つの舞台を創るという意欲にもつながったと感じます。そこから本番までは1週間程度でしたが、とてもわくわくした様子で子供たちが体育館に入ってくるのが印象的でした。能動的な鑑賞ができたと思います。これまで、〇〇中学校と一緒に芸術鑑賞をする機会はありませんでしたが、今回の鑑賞を機に次年度以降も、一緒に応募したいと思っています。

実施上の問題点、その他ご意見がありましたら記入してください。参考にさせていただきます。(250文字)

暗いシーンがあるとは伺っていたのですが、強度の点滅があることはお伺いしていなかったもので、できれば事前に演出にもう少し詳しくお伺いしたかったです。また、途中生徒や教員が出入りしなければならない状況も多いので、後ろの暗幕は、少しだけ開けておいていただくとより安心できるかなと思いました。特に問題と感じるレベルほどではありませんが、今後への期待感も込めて記入しました。

児童・生徒の文化芸術体験状況

■「公演当日まで、文化芸術(◆)を間近で鑑賞したことはありましたか。」

※ホームルーム等で下記の文化芸術体験についての質問をして頂き、その結果を下表に集約してください

【本公演に参加した児童・生徒への質問】

① 文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった

② 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった

③ 今回の種目も鑑賞したことがあった

④ よく覚えていない

種目		文化芸術体験児童・生徒数*					
		①	②	③	④	合計	人
小 1		6				6	人
小 2		6				6	人
小 3				2	3	5	人
小 4				6	2	8	人
小 5				4		4	人
小 6				6	1	7	人
中 1		27	2			29	人
中 2			20			20	人
中 3			21			21	人
在校生その他		5				5	人
総合計		44	43	18	6	111	人

【注意】実施報告書類は、公演終了後速やかに、事務局へ提出してください。提出はExcelデータにてお願いいたします。

MEMO